



定約書

福多利羅_{スコロ}同姓耳下笠衣松人字金義
字東達幸_{トシタツ}懷喉_{カイノ}足元有地及民
有地_{アリ}舍有无_{アリナシ}產悉皆_{ハラ}般生利公
國福多_{クニスコロ}博多不_ハ船町古門_{コノマ}半
二_ニ故_{ソシ}搖籃傳_{ハシマツル}少額_{シヨク}年後_{ヒサシ}候_{マサニ}地主_{ミタツ}氏
子_チ甲_{イチ}上川志_{カミツ}年_{イニ}乙_{トス}年_{セカイ}丙_{トス}年_{サン}丁_{トス}年_{ヨリ}丙_{トス}年_{ヨリ}
向_{ムカシ}定約_{セイエイ}元_{ヒラ}幸_{トシ}左_{シタ}

年約

第一條此約生_{タガ}為_シ之_{シテ}前_{ミテ}年_{ヒツ}牛_{ウシ}何_{シテ}不_{シテ}同

定約及萬機存立共九席アリニス全圖牛約

牛既往留未有之唯ノ牛約ナリトス

第ニ年右流事葉事テ高ニハテロ雲水ヲ流シ

為モ田畠ニ其害ニ被ルノミナラス人民ニ之故

少ノ妨害尼以テ害之況株城ノ數萬石作

、佐全長令主ノ上分、ヲ乙弓弓ニ有候ニ及

計具及引度具限始ナ

其年自一月至二月分ヲ四月年首迄配

調子十五カラ限リトス

第三年乙借田主領ニ付テハ同ニ於ニ年長候

最諸調印ヲ舊ハ勿論宮黨上必要威充

片甲ハ之ヲ應ニ直干ニ謝印シルモトス

第四年零木路易地ノ地主ヨリ通例御朱ヲ

次テ乙ノ貸田アリトス

但レ零木路通シニ作化費用ハ乙ノ負

担トス

第五年零木路全草達寺合有正院

ヲ軍ニ於テ地ニ移也支給ナサシム約生稻

又寺ニ奉事ナクシニ於テ后年增借延詔件

ハ軍連カニ兼復調原約ナリトス

常寧借出外ト生此等事多難寺猿喰
地控テ落葉物及瓦石片並御水
桶牛糞他既棄上土地使用ノ必要ヲ
感念ル仲何故乎不同甲ニ於テ至誠
且ツ甚精至乙の勝手ニ便用スル

幸ナシ

但取在田畠九件通例レサニ乙
地主水井役スヘシ左官職モ解ヒテ少々
少々年可ニ保ト者トス

身七奉様歲年限ハ該地官員坐存

在那ナトス故ニ傍邊營繕年中經行
地之役北立人頭之役半ツ要スル件ノ差
端乙ニ差間ナカラシメ甲ニ施テ之ナ
間ハ底ナフモノトス
身七奉様歲年限ハ該地官員坐存
傳色ヲ他ニ譲り候し清高シ移し候ハ
獨リ乙ノ權限ミテ甲ノ之ナ拒ハ體制
但ニ譲後ニシテリ村所傳移下ヨ清高

身七奉様歲年限ハ該地官員坐存

内里事ひの修理費用却為し免付生糸部
金百十ヶ分、一則ナ産田園さん件ハ吉三

年甲子、加賀二年ナトス

牛馬地之人既及山陽村等開闢ラサル
改修事立ニ至アルカ又ハ揚水ノ下流
村等甚候申充草アシナリ叶ニヨリ
麥乞、迷惑ニナサル博甲ニ於テ掛リ

モドス

但地お三便化費用乙ノ如也

第十一條修理費用年間半八甲子

御ヤシナヒニお腹ニモトス

約し内金等之費用乙ノ如也トス

第十二條修理費用乙ノ如也トス
牛馬地之人運搬道路地村ニ至ルモハ
甲子西多ワニテ風除村ニモ候スヘシ

第十三條修理費用乙ノ如也トス
牛馬地之人自他ヲ不問其生糸上ニ被テ
此十年前甚候起ル事ルト雖モ甲子ニ於
一切ノ變ナヒ、迷惑ニナサル修理料スレ
第十四條修理費用乙ノ如也トス
及復變ノ事無事あらヘキ所リ確乎

トシテ 動力ガルヘシ第3軍ニ於キ連隊
シタル件ノ年ニ乙キ靈糧被御全ナリシ
公益金・過五ヶ年分ナ一時ニ乙キ麥皮スをトス
年十五年令閏軍乙間ニ以定約ム以上ノ級
令他ヨリ或許ノ金穀物件 ヨムテ
定約シ清承エルモアリト此年ハ之レヲ
義理スルノ種利ナキモノトス
ノトクノ事実據此見リ於名ニ内ヨリウ風
立憲ノ多用ス可シト甚ニ不滿常ニシテ
所解及シ萬物主事ハ何時起解候スル
天ノトク

新嘉坡支那大字會久人
昭和廿五年八月
英語
中華人民共和国
新嘉坡支那大字會久人
英語
中華人民共和国
新嘉坡支那大字會久人
英語
中華人民共和国
新嘉坡支那大字會久人
英語
中華人民共和国
新嘉坡支那大字會久人
英語



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11